

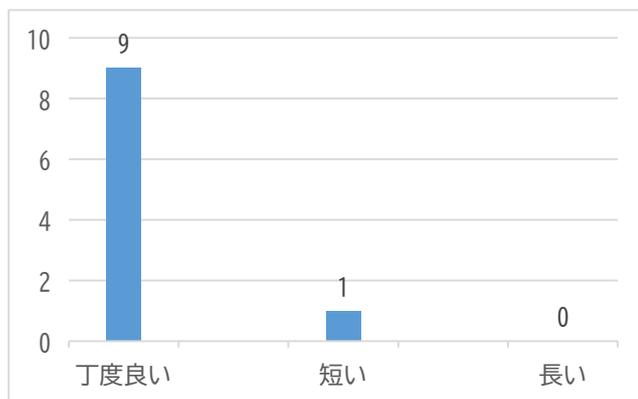
## 令和6年度 自治と協働の職員研修に係る はぐくむ委員事後アンケートについて

### 1. 概要

次年度以降の参考とするため、当日参加いただいたはぐくむ委員を対象に事後アンケートを実施し、10名より以下の回答を得ました。いつもご協力ありがとうございます。

### 2. 各アンケート内容

#### (1) 研修の時間配分について



#### (2) 事例発表について

##### ① 良かった点

- ・事例発表が協働を知らない職員や具体事例を知らない職員への周知のきっかけになった。
- ・複数の事例発表を行ったことがよかった。
- ・発表内容がデータに基づく具体的なもので分かり易かった。
- ・「知る」ということは第一歩だと改めて感じた。

##### ② 改善点

- ・事例発表の前に各事例の簡単な紹介と発表項目の説明が必要だった。
- ・職場(内部)での協働の取り組みを進める苦労や職場内職員の関わりをもう少し加えてほしい
- ・職員にとっても認知度の低そうな事例を選んでもいいのでは。
- ・事例発表は2例でよい。
- ・もっといろいろな課の取り組みについて知りたいです

(3) ワークショップについて

① 良かった点

- ・職員との交流が図れた。
- ・職員がファシリテーターをしてくれると勉強になる。
- ・「協働事例の共有」は、職員の立場と地域住民の立場の両方で事例が出た。職員が地域住民として参加している事例も聞くことができ、議論が深まった。
- ・協働への「課題と具体的提案」と内容を具体化したことで前向きな話が出た。
- ・グループの人数もちょうど良かった。
- ・事例を聞いてから、自分の思う協働を挙げていく流れが良かった。
- ・職員の「協働」の意識が高くなって来たように感じた。

② 改善点

- ・職員の温度差が激しい。あからさまにやる気がなく、市民を失望させる者もいた。
- ・出席者の確保と欠席者を少なくする工夫が必要。
- ・発表事例を1つに絞らず複数でも良いのではないか。
- ・各グループの机を少し離し、他のグループの音量対策が必要。
- ・付箋紙のそれぞれの色の枚数が少なかったため、色の使い分けができなかった。
- ・ワークショップの時間が短い。
- ・ワークショップにおけるテーマ決めまで時間を要したため、工夫が必要。

(4) 当日全体について

- ・午後が午前には比べ活気がなくなる。
- ・講評、挨拶の短縮が必要。
- ・参加者に掲示物を見てもらうための工夫が必要。

(5) 研修当日までの準備段階について

- ・忙しいなか、みんなで協力して頑張れた。